

活動報告

令和2年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会学術活動

糸魚川総合病院、検査科：臨床検査技師

あ べ けん じ
阿部 健司

今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年行っていた「JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会輸血実技講習会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会主任研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会」は開催できず、日本医学検査学会、北日本支部医学検査学会等の県外への派遣参加もできない状況であった。

令和2年度にJA 新潟厚生連臨床検査技師会が企画運営した学術活動を報告する。

検査技師会の内部研修である教育研修の「日臨技 e-ラーニング研修（インターネットを利用した自己学習）」、「生化学研究班分科会」の2研修会を行った。

今年度の日臨技 e-ラーニング研修は10月～12月の3ヶ月間の期間で、入職1年目と入職2年目の技師を対象に必修となるコンテンツを受講する研修を行った。受講された新人技師は例年通りの新人研修会を行えなかったが、e-ラーニング研修を通して、接遇やコミュニケーション、就業規則、タイムマネジメント、コンプライアンス、チーム医療、身だしなみや言葉遣い等について学習してもらい、入職2年目の技師には、就業規則、インフォームドコンセントやコンプライアンス、リーダーシップ、情報セキュリティ、効果的なプレゼンテーション等について学習してもらった。

生化学研究班分科会は各施設の担当者に参加して頂き、IFCC 対応試薬への変更、共用基準範囲について討議が行われた。今年度は多方面にわたる行動や集会が自粛、制限される例年とは違う年となったが、来年度は新型コロナウイルスの終息する事を願い、技師会の内部活動、外部活動等に力を入れていきたい。

以下に令和2年度の各研修会活動内容の詳細を示す。(所属病院、姓名は研修会当時のものである)

【日臨技 e-ラーニング研修】

日時：令和2年10月～令和2年12月（3か月間）

会場：各施設（病院）及び自宅

内容：日本臨床衛生検査技師会の e-ラーニングの受講

研修対象者…(入職1年目と入職2年目)

入職1年目 15名

秋山 ゆり (糸魚川総合病院)	笠原 阿実 (糸魚川総合病院)
林 真梨瀬 (上越総合病院)	磯貝 真那 (上越総合病院)
永原 俊希 (上越総合病院)	吉田 結衣 (柏崎総合医療センター)
長谷川直緒 (柏崎総合医療センター)	柴原 謙 (小千谷総合病院)
石井 唯奈 (長岡中央総合病院)	井野恵理花 (新潟医療センター病理部)
高橋 優希 (村上総合病院)	齋藤 美咲 (村上総合病院)
中澤 和希 (村上総合病院)	富田 顕史 (佐渡総合病院)
花澤 夏芽 (佐渡総合病院)	

[順不同]

入職2年目 9名

瀧澤 舞 (上越総合病院)	小林亜矢音 (上越総合病院)
平 桃子 (小千谷総合病院)	常木菜々恵 (長岡中央総合病院病理部)
中嶋 惇人 (新潟医療センター)	吉川 早紀 (村上総合病院)
難波 大希 (佐渡総合病院)	福原 祐斗 (佐渡総合病院)
熊谷 健利 (佐渡総合病院)	

[順不同]

【生化学研究班分科会】

日時：令和2年11月7日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂

参加人数：13名

議事

1. ALP、LDH の IFCC 対応試薬への変更について
2. TSH の IFCC について
3. 共用基準範囲について

要旨：今年度のJA 新潟厚生連臨床検査技師会の春季研修会と秋季研修会が新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため、研修会で行う予定であった分科会を今回生化学研究班が少人数体制で開催した。業務上の情報共有や今後の活動等について討議された。